

入札説明書

調達内容等件名 広島市立大学で使用する電気

項目及び構成

- 1 契約担当室
- 2 調達内容
- 3 入札方式
- 4 入札区分
- 5 入札に参加する者に必要な資格
- 6 資格確認申請書等の書類の交付方法
- 7 契約条項を示す場所等
- 8 入札の方法
- 9 入札書等の提出方法
- 10 入札、開札の日時及び場所
- 11 資格確認申請書等の提出
- 12 一般競争入札参加資格の確認
- 13 落札者の決定
- 14 その他

契約書（案）及び仕様書

別紙 1 受電設備容量内訳表

別紙 2 平成 27～29 年度月別使用電力量実績、使用予定電力内訳

別 添

入札書（指定様式）

入札附属書

委任状

仕様書に関する質問書（指定様式）

入札説明書

1 契約担当室

広島市立大学事務局企画経営室（広島市立大学本部棟2階）
〒731-3194
広島市安佐南区大塚東三丁目4番1号
電話 082-830-1670（直通）

2 調達内容

- (1) 調達等件名及び数量
広島市立大学で使用する電気 予定使用電力量 14,884,092 kWh（3年間）
- (2) 履行の内容等
別紙「仕様書」のとおり。
- (3) 契約期間
契約締結の日から平成34年3月31日まで
- (4) 履行期間
平成31年4月1日から平成34年3月31日まで（3年間）
- (5) 履行場所
広島市立大学
広島市安佐南区大塚東三丁目4番1号

3 入札方式

- (1) 本件の入札方式は、入札後資格確認型一般競争入札である。
- (2) 入札後資格確認型一般競争入札は、一般競争入札に参加する者の入札参加資格の確認を入札前に行わず、開札を行った後において、予定価格の制限の範囲内の価格をもって有効な入札書を提出した最低入札価格提示者（落札候補者）がある場合に、落札者の決定を保留した上、落札候補者に一般競争入札参加資格確認申請書（以下「資格確認申請書」という。）の提出を求め、その入札参加資格を有することを確認した場合に、落札者として決定するものである。
- (3) また、最低入札価格提示者が次に掲げる場合に該当するときは、予定価格の制限の範囲内の価格をもって有効な入札書を提出した者のうち、次順位の入札価格提示者から順次、前記(2)と同様にしてその入札参加資格の有無を確認し、落札者として決定するものとする。
 - ・入札参加資格を有していないと確認した場合
 - ・無効な入札の場合

4 入札区分

本件は、紙による入札の案件である。

5 入札に参加する者に必要な資格

次に掲げる入札参加資格をすべて満たしていること。

- (1) 公立大学法人広島市立大学契約規程（以下「規程」という。）第3条の規定に該当しない者であること。
- (2) 広島市競争入札参加資格の「平成29・30・31年物品の売買、借入れ、修繕及び製造の請負並びに役務（建設コンサルティングサービスに係る役務を除く。）の提供」の契約の種類「物品の売買、借入れ、修繕及び製造の請負」の登録種目「16-01 電力供給」に登録している者であること。
- (3) 入札公告の日から開札日までの間のいずれの日においても、営業停止処分、公立大学法人広島市立大学の指名停止措置又は広島市の指名停止措置若しくは競争入札参加資格の取消しを受けていないこと。

6 資格確認申請書の書類の交付方法

広島市立大学のホームページからダウンロードできる。[\(http://www.hiroshima-cu.ac.jp/\)](http://www.hiroshima-cu.ac.jp/)

7 契約条項を示す場所等

(1) 契約条項を示す場所

広島市立大学のホームページ（前記6に記載のとおり。以下同じ。）からダウンロードできる。

(2) 入札説明書、仕様書等の交付方法

広島市立大学のホームページからダウンロードできる。

(3) 仕様書等に関する質問

ア 仕様書等に関する質問がある場合は、次により、仕様書等に関する質問書を提出すること。

なお、仕様書等に関する質問書は、広島市立大学のホームページからダウンロードできる。

(ア) 提出期間

平成31年1月4日（金）から平成31年1月21日（月）までの土曜日、日曜日及び祝日を
除く毎日の午前8時30分から午後5時まで

(イ) 提出場所及び問い合わせ先

広島市立大学事務局総務室（契約発注担当）

（広島市立大学本部棟2階）

〒731-3194

広島市安佐南区大塚東三丁目4番1号

電話 082-830-1502（直通）

(ウ) 提出方法

郵送（配達証明付書留郵便）又は持参とする。

イ 前記アの質問に対する回答は、質問を受けた日の翌開庁日以後において、次のとおり閲覧に供する
方法で回答する。

(ア) 閲覧期間

平成31年1月7日（月）から平成31年1月21日（月）までの土曜日、日曜日及び祝日を
除く毎日の午前8時30分から午後5時まで

(イ) 閲覧場所

前記ア(イ)に同じ。

8 入札の方法

(1) 入札書は、本大学所定の用紙によること。

(2) 入札書（指定様式）の記載項目

ア 入札書第何回

イ 年月日「平成 年 月 日」（提出日を記入すること。開札日の場合は平成31年1月21日）

ウ 競争入札参加者の住所、氏名（法人の場合はその名称又は商号）及び押印（代理人が入札する場
合は代理人の氏名及び押印）

エ 入札金額（参考 3年間の予定総額）及び入札金額を3年間の予定使用電力量で割った額

オ 基本料金単価（契約電力に対する契約希望単価）

カ 電力量料金単価（予定使用電力量に対する契約希望単価）

キ 割引料金（月額）

ク 「消費税法第9条第1項の適用について」は、該当の数字を○印で囲むこと。

(注) 記載するに当たって、次の点に注意すること。

- ・ 「競争入札参加者の住所、氏名」及び「印」は、広島市競争入札参加資格申請書において
委任状を提出している場合は、受任者の住所、商号（名称）及び代表者の氏名とし、印章は
同申請書において提出した使用印鑑届により届け出たものとする。

- ・ 入札金額の訂正は認めない。

- ・ 本入札書に記載する入札金額(参考 3年間の予定総額)は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、入札附属書により見積もった3年間の予定総額の108分の100に相当する金額を記載すること。

(3) 入札附属書の記載項目

仕様書に示した契約電力及び予定使用電力量に対して、契約電力及び予定使用電力量の契約希望単価並びに割引がある場合はその割引料金を控除して計算した結果を記載すること。ただし、別紙「入札附属書(入札書積算内訳)」の様式に積算の内訳を記載できない場合は、別紙「入札附属書(入札書積算内訳)」を見本に、入札金額(参考 3年間の予定総額)の積算の内訳を任意様式(用紙はA4サイズ(定型)とし、2ページ以上に及ぶ場合には、割印をすること。)に記載して提出すること。

なお、入札附属書の積算に誤りがある場合、また、入札附属書が入札書記載金額と対応していない(金額が一致していない)場合は、無効とする。

ア 標題「入札附属書(入札書積算内訳 第何回)」

イ 年月日「平成 年 月 日」(提出日を記入すること。開札日の場合は平成31年1月21日)

ウ 競争入札参加者の住所、氏名(法人の場合はその名称又は商号)及び押印(代理人が入札する場合は代理人の氏名及び押印)

エ 仕様書に定めた標準力率での契約電力に対する各月ごとの基本料金の契約希望単価(標準力率の変動に対する積算を伴う場合はその積算方法。複数設定可能。)

オ 予定使用電力量に対する電力量料金の各月ごとの契約希望単価(複数設定可能。)、金額及び積算方法

カ 割引がある場合、その割引料金及び積算方法

キ 各月ごとの基本料金と電力量料金の合計から、割引料金を差し引いた合計金額

ク 1年間の基本料金合計、電力量料金合計、割引料金合計、予定総額

ケ 3年間(履行期間)における基本料金と電力量料金の合計から、割引料金を控除した合計金額及び当該合計金額の108分の100に相当する金額(予定総額)

(注) 記載するに当たって、次の点に注意すること。

- ・ 「競争入札参加者の住所、氏名」及び「印」は、広島市競争入札参加資格申請書において委任状を提出している場合は、受任者の住所、商号(名称)及び代表者の氏名とし、印章は同申請書において提出した使用印鑑届により届け出たものとする。
- ・ 基本料金及び電力量料金の単価には、1円未満の端数を含むことができる。ただし、各月の基本料金と電力量料金の合計から割引料金を控除した合計金額及び3年間の予定総額に1円未満の端数があるときには、その全部を切り捨てた金額を記入すること。

(4) 入札方法

ア 入札書の入札金額は、入札附属書により見積もった3年間の総価(3年間の予定総額)を記載すること。

イ 入札書には、入札附属書に記載した契約希望金額の単価を記入すること。

ウ 落札の決定に当たっては、総価により行う。

(5) 契約方法

契約は、入札書に記載された基本料金単価及び電力量料金単価(当該金額に1円未満の端数を含むことができる。)で行う。

(6) 燃料調整費及び再生可能エネルギー発電促進賦課金

入札価格の算定に当たっては、燃料調整費及び再生可能エネルギー発電促進賦課金については、入札金額に含まないものとして入札すること。

9 入札書等の提出方法

(1) 入札書等の提出方法

- ア 入札書を持参により提出する場合は、後記10(1)に同(3)へ持参すること。
- イ 郵送(配達証明付書留郵便にかぎる。)により提出する場合は、入札回数は3回を限度とするので、入札回数に相応する3通の入札書及び入札附属書を作成し、3通それぞれ封筒に入れて封印し、その封皮には入札者の商号(名称)を記載し、「平成31年1月21日(月)午前10時00分開札(広島市立大学で使用する電気)の入札書第何回目在中」と朱書すること。これらを封筒に入れて二重封筒とし、表面に「平成31年1月21日(月)午前10時00分(広島市立大学で使用する電気)の入札書在中」と朱書し、親展により前記1宛に、平成31年1月18日(金)午後5時までに必着のこと。なお、電送等その他の方法は認めない。

(2) 委任状

代表者及び届出代理人(代表者から継続して委任を受けている旨の届出がされている者)(以下「代表者等」という。)でない者が、当該入札において代理人(届出代理人から委任を受けている復代理人を含む。)として入札する場合は、代表者等からの委任状を提出すること。

代理人として入札する場合は、入札書の入札者住所氏名欄の記載は次の例のとおりとなるので、注意すること。

(入札者住所氏名欄の記載例)

〇〇市〇〇町〇番〇号

〇〇〇〇株式会社

代表取締役 〇〇 〇〇

上記代理人 〇〇 〇〇 印

なお、委任状は、本法人所定の様式(広島市立大学のホームページに掲載。)を使用して作成すること。

(3) その他

ア 入札書の提出後は、入札(開札)日時前であっても、提出された入札書等の書換え、差換え又は撤回等は一切認めない。

イ 入札回数は3回を限度とする。

10 入札、開札の日時及び場所

(1) 入札日時 平成31年1月21日(月)午前10時00分

(2) 開札日時 入札締切後、直ちに行う。

(3) 場 所 広島市安佐南区大塚東三丁目4番1号
広島市立大学本部棟2階 会議室1

(4) 開 札

ア 入札参加者は開札に立ち会うことができるものとする。ただし、立ち会うことができる者は1名とする。

イ 開札の結果、予定価格の制限の範囲内で最低の価格をもって有効な入札書を提出した者がいるときは、落札者の決定を保留し、当該者を落札候補者とする。

ウ 落札候補者となるべき同価の入札をした者が2者以上あるときは、開札後直ちに、くじ引きにより落札候補者を決定する。この場合において、くじ引きをしない者がある場合には、当該入札事務に関係のない職員がその者に代わってくじ引きを行う。

エ 開札の結果、予定価格の制限の範囲内で有効な入札書を提出した者がいないときは、直ちに再度の入札を行う。ただし、3回目の入札を実施し、予定価格の制限の範囲内で有効な入札書を提出した者がいないときは、本入札を打ち切る。

オ その他開札及び落札候補者の決定に関しては、公立大学法人広島市立大学物品売買等に係る入札後資格確認型一般競争入札実施要領に定めるところによる。

11 資格確認申請書の提出

落札候補者となった者は、次により資格確認申請書を提出するものとする。

また、資格確認申請書に虚偽の記載をした者に対しては、指名停止措置を行うことがある。

- (1) 提出先
前記1に同じ。
- (2) 提出部数
提出部数は、1部とする。なお、提出された資格確認申請書は返却しない。
- (3) 提出期限
平成31年1月21日（月）の午後5時まで。
なお、提出期限までに提出できない場合は、その者のした入札を無効とする。
- (4) その他
入札参加者は、資格確認申請書を前記(3)の提出期限までに提出できるようにあらかじめ準備しておくこと。

12 一般競争入札参加資格の確認

一般競争入札参加資格の有無については、開札日時を基準として、前記11により提出された資格確認申請書に基づき、確認するものとする。この場合において、落札候補者が、開札日以後、落札者の決定日までの間に営業停止処分、公立大学法人広島市立大学の指名停止措置又は広島市の指名停止措置若しくは競争入札参加資格の取消しを受け、又はその他一般競争入札参加資格を満たさなくなったときは、その者のした入札を無効とする。

13 落札者の決定

- (1) 前記12により落札候補者が一般競争入札参加資格を有すると確認された場合は、当該落札候補者を落札者として決定する。
- (2) 落札者の決定結果は、入札参加者全員に通知する。

14 その他

- (1) 契約手続において使用する言語及び通貨
日本語及び日本国通貨に限る。
- (2) 入札保証金
免除する。
- (3) 入札回数は、3回限りとし、この結果、落札者（落札候補者）がない場合は、入札を打ち切る。
- (4) 契約保証金
免除する。
- (5) 契約書の作成等
 - ア 落札者は、落札決定した日から5日以内の日（最終日が公立大学法人広島市立大学職員の勤務時間、休日及び休暇等に関する規程第7条第1項に規定する休日に当たるときは、その日後において、その日に最も近い同項各号に掲げる日でない日）に契約書の取り交わしをするものとする。
 - イ 落札者が前記アの日に契約書の取り交わしをしないときは、落札の決定を取り消すとともに、公立大学法人広島市立大学の競争入札参加資格を取り消す。また、落札決定を取り消された者は、契約予定金額に対する入札保証金相当額の損害賠償金（契約予定金額の100分の5）を支払うものとする。
 - ウ 契約書は2通作成し、本法人及び落札者がそれぞれ、記名、押印の上、各1通を保有する。
 - エ 契約書の作成に要する費用は、すべて落札者の負担とする。ただし、契約書用紙は本法人が交付する。
- (6) 入札の中止等
本件入札に関して、天災地変があった場合、入札参加者の談合や不穏な行動の情報があった場合など、入札を公正に執行することができないと判断されるときは、入札の執行を延期又は中止することがある。
- (7) 入札の無効

次に掲げる入札は、無効とする。

- ア 本件公告に示した入札に参加する者に必要な資格のない者がした入札
- イ 資格確認申請書の書類に虚偽の記載をした者がした入札
- ウ 入札金額を訂正したもの
- エ 再度の入札における入札金額が、前回の入札の最低金額以上の額である入札書
- オ その他規程第7条各号のいずれかに該当する入札